

放射線測定記録

認	審 査	作 成
		128.3.8

1. 測定日時等

測 定 日 時：平成 28 年 3 月 3 日 15:30 ～ 16:35

測 定 場 所：①福島第一原子力発電所 入退域管理施設 1 階 ER 室

②福島第一原子力発電所 新事務棟 2 階 健康管理室

測 定 者：放射線安全 G

2. 表面線量当量率測定

測 定 器：シンチレーションサーベイメータ（管理番号：F1-SC-136）

測 定 器 型 式：TCS-172B

測定器メーカー：日立アロカメディカル株式会社

3. 表面汚染密度測定

測 定 器：GM サーベイメータ（管理番号：F1-GMAD-452）

測 定 器 型 式：TGS-146B

測定器メーカー：日立アロカメディカル株式会社

換算定数(直接法)： 6.75×10^{-3} ($\text{Bq} \cdot \text{cm}^{-2} \cdot \text{cpm}^{-1}$)

4. 測定結果

バックグラウンド(BG)：①ER 室 60 (cpm) ・ 0.06 ($\mu\text{Sv/h}$)

②健康管理室 60 (cpm) ・ 0.06 ($\mu\text{Sv/h}$)

検出限界計数率：①ER 室 132 (cpm) ※GROSS 値

②健康管理室 132 (cpm) ※GROSS 値

(BG 測定及び物品測定時定数=10 秒)

検出限界値 (LTD)：①ER 室

$$0.49 (\text{Bq} \cdot \text{cm}^{-2}) = (\text{検出限界計数率} - \text{バックグラウンド}) \times \text{換算定数}$$

②健康管理室

$$0.49 (\text{Bq} \cdot \text{cm}^{-2}) = (\text{検出限界計数率} - \text{バックグラウンド}) \times \text{換算定数}$$

測定物品名称	数量	表面線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	表面汚染計数率 (cpm) ※GROSS 値	表面汚染密度 ($\text{Bq} \cdot \text{cm}^{-2}$)
① ER 室 医療廃棄物	1 箱	BG 相当	60	LTD
	1 箱	BG 相当	900	LTD (※)
② 健康管理室 医療廃棄物	17 箱	BG 相当	60	LTD

表面汚染密度 = (表面汚染計数率 - バックグラウンド) × 換算定数

ただし、表面汚染計数率が検出限界計数率未満の場合は検出限界値 (LTD) とする。

(※1): 容器表面には、遊離性のある放射性物質の付着はなかった。ただし、ER 室の 1 箱については、直接法により測定したところ、有意な指示値(900cpm)が計数されたため、スミア法による間接測定を実施し確認した。従って、有意な指示値を計数した原因については、当該容器内に封入されている放射性物質の影響によるものである。なお、当該容器は、管理対象区域内に搬入するよう指示した。